

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 25 日

事業所名 児童デイサービス・アニマート鹿屋あさひばる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	0		最低人員は満たしているが不十分と感じる。利用人数や活動内容に合わせて適切なスタッフ配置ができるよう体制づくりに努めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0		最低限の配慮はできていると思うが、まだ不十分と感じるので、今後検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	朝礼・昼礼などにおいて目標や計画等を共有し、終礼で反省や改善案の検討などを行っている。今後も継続していきたい。	朝礼・昼礼などにおいて目標や計画等を共有し、終礼で反省や改善案の検討などを行っている。今後も継続していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	1回/1年実施している。その他活動内容についてなど細かいアンケート調査も実施し業務改善に努めている。	1回/1年実施している。その他活動内容についてなど細かいアンケート調査も実施し業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		現時点では未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0		実施はしているが、今後ももっと掘り下げて個々の資質向上を図りたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	活動内容についてアンケート実施し要望に応じて活動内容の見直しを行っている。	継続的に活動のアンケートを実施していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	自社共通のアセスメントツールを使用しており、併せて事業所独自のアセスメントツールを用いてより細やかな状況把握に努めている。	アセスメントツールを使用し、今後も継続的により細かい状況把握に努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	毎月職員会議で話し合い活動内容を設定している。	会議の場を設けて、チームでの立案を継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎週検討会議を行い活動内容の見直しを行っている。	会議の場を設けて、チームでの立案を継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	児童の課題点や状況に応じて個別活動と集団活動(小集団・中集団など)検討しながら作成している。	会議の場を設けて、チームでの立案を継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	朝礼・昼礼を行い綿密な打ち合わせを行っている。また児童に関する情報も細かく共有出来ている。	朝礼・昼礼を行い綿密な打ち合わせを行っている。また児童に関する情報も細かく共有出来ている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	終礼を実施しその日の反省点やヒヤリハット報告、改善案の話し合いなどを行っている。	終礼を実施しその日の反省点やヒヤリハット報告、改善案の話し合いなどを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	個別に経過記録を記載し、必要な記録を取ることで支援内容の改善や検討に繋げることが出来ている。	個別に経過記録を記載し、必要な記録を取ることで支援内容の改善や検討に繋げることが出来ている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的なモニタリングにおいて評価内容と現状に沿って見直しを行っている。	定期的なモニタリングにおいて評価内容と現状に沿って見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0		会議の場を設けて、チームでの立案を継続していく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	会議参加の前には、全職員からの聞き取りを会議してから参加できるように努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	学校から積極的協力を得ることができ、適切な連携が取れている。学校から依頼があった際には積極的な対応が出来るよう取り組んでいる。	今後も、的確な状況判断をし、情報の共有に努めていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない為連絡体制などはまだ整備されていないが、今後研修などを通して検討していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4		相談員や他事業所などの情報共有に努めていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4		現在、障害福祉サービス事業所への移行対象の児童がいらない為情報提供の実績はないが、今後、必要性があれば、協力体制を整え積極的に連携していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0		研修や会議などへは参加しているが、積極的連携は足りていないと感じる。今後積極的に連携を図ってきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		公園や公共施設などでの交流はあるが、合同でイベント実施などはしたことがないので、今後、検討企画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0		研修や会議などへ毎回の参加が出来ておらず不十分と感じる。今後、積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	連絡帳を用いて状況などを共有する以外に、電話や面談などで現状や課題点、支援方法について共通理解が出来るよう取り組んでいる。	連絡帳を用いて状況などを共有する以外に、電話や面談などで現状や課題点、支援方法について共通理解が出来るよう取り組んでいる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4		ペアレントトレーニングを実施できる職員が配置出来ていない為支援できていないが、今後職員のスキルアップの課題として取り入れていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に細かく説明をしている。	契約書や重要事項説明書を用い、細かく説明をし、同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	連絡帳を用いて状況などを共有する以外に、電話や面談などで相談支援を行っている。	出来る限り行っていると思うが、不十分と感じている。事業所側から不安や心配事がないかなどアプローチをとり、積極的に支援を行ってきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	年に1回保護者会を実施している。楽しく参加してもらえるような企画を考えている。	今後、回数を増やしたり、内容を検討したりして積極的に連携していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		苦情などのトラブルはないが、もしもの時は、マニュアルに沿って対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	活動報告や行事予定、連絡事項などを記載した通信を1回/2ヶ月発行している。	通信や活動毎に会報などを発行し、状況を細かく伝えるように努めている。
	35	個人情報に十分注意している	4	0		鍵付きの書庫を使用し、個人情報の管理を徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		面談時や契約時等も意思の疎通を明確にできるよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		未実施である。今後企画検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		作成しているが、周知が不十分だと感じる。改めて周知に努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	地震・水害・災害など様々な想定で自主避難訓練を行っている。	避難訓練等を計画し、全児童が理解し把握できるよう努めている。また、保護者様にも非常災害時の対応を伝え安心して頂けるように努めている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	職員会議後に虐待防止の資料の読み合わせを行うと共に事例検討も行う共通理解に努めている。	職員会議後に虐待防止の資料の読み合わせを行うと共に事例検討も行う共通理解に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	4		現在「やむを得ず身体拘束を行わなければならない」対象児童がいない為、計画書へは記載されていない。 今後対象児童がいた場合には、適切な対処が出来るよう取り組んでいきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		アセスメント時に細かく収集し、全職員に伝達できる方法を取っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハット事例に関して職員間で共有し、今後の対策を検討し、危機管理について研修を実施している。	ヒヤリハット事例に関して職員間で共有し、今後の対策を検討し、危機管理について研修を実施している。